

1989 平成元年10月



姉妹都市となり初めて本市を訪れたクライペダ親善使節団。多くの市民で歓迎し、友好と親善を深めました

1991 平成3年10月



ソ連から独立後、中央公民館で初めて開催されたリトアニア物産展。多くの市民がリトアニアの文化に触れました

1999 平成11年11月



姉妹都市10周年を記念して開催したリトアニア音楽祭。市民合唱団も参加し、文化交流と友好を深めました

こはく 琥珀が結んだ姉妹都市

クライペダ市 交流20周年

本市の姉妹都市リトアニア共和国クライペダ市。琥珀が縁で結ばれた両市は交流で絆を深めてきました。姉妹都市締結から今年で20周年。絆を固く結ぶため市の派遣団が再びクライペダ市を訪問します。大切な友人との関係をわたしたちも振り返ってみましょう。



クライペダ市の町並み。わたしたちの姉妹都市はバルト海に面した湾岸都市です

姉妹都市は琥珀の産地

琥珀が縁で結ばれた姉妹都市。今年7月9日、本市とリトアニア共和国クライペダ市は姉妹都市の締結から20周年を迎えます。

日本随一の琥珀の産地である本市は平成元年7月9日、琥珀を通じてクライペダ市と姉妹都市になりました。クライペダ市はヨーロッパのバルト海に面したまちで世界最大級の琥珀の産地。スウェーデンやドイツなど近隣の国々と連絡する港を持つ、長い歴史がある湾岸都市です。

合併により新久慈市となっても受け継がれてきた姉妹都市の絆。まずはこれまでの交流の姿を振り返ってみましょう。

絆を築いた互いの交流

これまで互いの市を訪問するなどして交流を進めてきた本市とクライペダ市。平成2年と3年には、当時ソ連領にあったリトアニア共和国の独立運動も市独自で支援しまし

た。

ソ連政府から武力的な圧力までかけられた激しい独立運動。渦中のクライペダ市から届いた支援要請に対して市は激励の電報を送り、ソ連政府には武力行使の中断を訴える抗議の電報を打ちました。不足する医薬品や救済物資も送るなどクライペダ市を支援。海外の一都市から思いもよらぬ手厚い支援を受けたクライペダ市の人たちは、皆大きな感動と勇気をもたらしたとい

さらに固く結ぶため

今年迎える大きな節目。これまで深めてきた絆を確認し、さらに固く結ぶため市は派遣団を組織して再びクライペダ市を訪問します。期間はクライペダ市のメインイベント「海の祭典」が開かれる7月31日から8月3日までの4日間。クライペダ市長の表敬訪問をはじめ、姉妹都市締結20周年を記念した調印式、日本の文化実演や特産品の販売なども行う予定です。

この支援活動をきっかけに、一層深い絆で結ばれた本市とクライペダ市は互いの文化や芸術など活発に交流。本市でも海外の「友人」を紹介するさまざまな催しが行われました。リトアニア物産展や国際琥珀の祭典、姉妹都市10周年を迎えた平成11年にはリトアニア国立交響楽団を招いて音楽祭も開催しました。市もクライペダ市の祭事で日本の文化や芸術などを紹介。文化や芸術の交流を行い、互いの歴史に理解を深め、固い友情の絆を築いてきました。

20年来の大切な友人。その絆をこれからもずっとつなげていきたいと思います。

クライペダ市はこんなまち



クライペダを良く知る久慈琥珀協取締役 新田久男 営業本部長

バルト海周辺の国には琥珀のつながりもあって20年近く毎年のように足を運んでいます。クライペダ市は都会で治安の良いまち。町もきれいです。美しい砂浜など自然にも恵まれています。訪問した際は久慈ということで歓迎され、テレビなどの取材を受けることもあります。クライペダ市は、まじめで人柄の良い人ばかり。久慈に注目し、大切に思ってくれていることを強く感じます。

久慈にもあるリトアニア



ぎんたる GINTAROリトアニア館 ☎53-9751 営業時間9時～17時 久慈琥珀博物館駐車場向い



リトアニアの民家をイメージした外観。黄色い壁が目印です



市章



位置

Data クライペダ市

ヨーロッパのバルト海に面したリトアニア共和国クライペダ市。同市は長い歴史がある湾岸都市で、近隣の国々をつなぐ港を持つリトアニアの海の玄関です。世界最大級の琥珀の産地としても有名で、その琥珀が縁となり平成元年7月9日に本市と姉妹都市になりました。リトアニアは平成3年、それまで支配下にあったソ連から独立。現在は欧州連合（EU）に加盟しています。▷面積=98km² ▷人口=約18万5,000人 ▷気候=年間を通して晴れが多いが、平均気温は低い ▷主な産業=水産業、食品加工、パルプ工業